

# あわら市議会だより

第71号  
令和4年2月15日 発行

あぁ、あわら贅沢。  
議会にはないぞいたくがあるまら



べにましこ (広報編集委員撮)

12月定例会報告	2p
委員会報告(決算審査)	3p
委員会報告	5p
一般質問	7p
討論	13p
次回会期日程	14p
議案と結果	15p
ふるさと探訪	16p

議会の様子がインターネットで視聴できます。

あわら市議会インターネット中継

検索

<http://www.city.awara.lg.jp/gikai/>

## 議会日誌

おもな会議のみ掲載

- 11月15日 あわら市議会・加賀市議会  
合同要望活動  
(金沢河川国道事務所・福井河川国道事務所)
- 22日 議会運営委員会
- 24日 全員協議会
- 30日 第110回議会定例会 開会  
予算決算常任委員会
- 12月8日 一般質問
- 9日 一般質問
- 10日 総務厚生常任委員会(分科会)
- 14日 産業建設教育常任委員会(分科会)
- 21日 予算決算常任委員会  
議会運営委員会
- 22日 全員協議会  
第110回議会定例会 閉会  
広報編集特別委員会
- 1月20日 広報編集特別委員会
- 25日 環境対策調査特別委員会
- 26日 総合交通まちづくり調査特別委員会
- 27日 広報編集特別委員会

## ふるさと探訪 「震災記念碑」

金津神社境内の社務所の西側に「震災記念碑」があります。その横には「福井震災物故者芳名碑」と「碑文」の石碑があります。碑文には、被災したことが刻まれています。

「昭和二十三年六月二十八日午後五時十四分突発せる激震により全町は瞬時にして壊滅の悲運に遭遇し倒壊家屋九百三十戸死者二百四名重軽傷者千七百五十三名の多きにのほり加うるに火のため三百四戸を焼失して全く焦土瓦礫の野と化したり

畏くも三笠宮殿下には同年七月五日親しく本町を慰問せられ内外各方面よりの慰問激励に接したるを以て全町民は復興の念に燃え立ち今や振興都市の姿を示すに至る 依って茲に未曾有の災禍を永久に記念するため此の碑を建立す  
昭和二十九年六月二十八日 金津町

私たちは、この震災記念碑・碑文に記されている文字どおりの壊滅状態から、先人の並々ならぬ復興への情熱と努力により今日が築かれた事に気づかされます。そして、福井大地震からすでに七十余年が経ち、再びあの大地震がいつ起こるとも限りません。私たちは、災害に立ち向かう知恵と備えと訓練を怠ってはいけない事を、この記念碑と碑文から思い至ります。(室谷)



震災記念碑

## 編集後記

2月は1年で最も寒い時期ですが、暦の上では春の始まりです。その由縁は立春を2月4日に迎えるからです。この二十四節気ですが、いろんな風習やならわしがあり、その文化を私も季節を感じるものとして大切にしています。変えてはいけないものと、変えなければいけないものがあります。我々は、日々変化の中を生きていますが、前進も後退も変化です。時には肩の力を抜くことも必要なのです。ただ、前を向くことだけ、その努力を忘れなければ。市議会も常に前を向き、改善し続けることにより、市民のみならずによりよい報告ができるよう邁進いたします。これから変化の多い時期を迎えますが、くれぐれもご自愛ください。(青柳)

編集・発行責任者 議長 山田 重喜  
市議会広報編集特別委員会  
委員長 北 卯  
副委員長 青 三  
委員 木 平 室 野 谷 下 柳 上 浦 目 時 陽 一 夫 郎 二 始 了 憲

発行/あわら市議会 編集/あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、議会だよりを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市議会事務局  
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp





# 12月定例会 令和3年度一般会計補正予算(第8号)

## 1億3,738万6千円を増額

# 令和3年度一般会計補正予算(第9号)

## 6億3,620万円を増額

- 企業立地助成金等 2,802万円を計上
- 子育て世帯等臨時特別給付金給付事業 3億7,700万円を計上
- 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業 2億5,720万円を計上
- 一般会計予算総額は171億9,737万5千円に

令和3年12月定例会が11月30日から12月22日までの会期で開催されました。今回の定例会では、補正予算に関するもの6議案、条例の制定に関するもの9議案、公の施設の指定管理者の指定に関するもの2議案の計17議案が上程され、すべて原案のとおり可決されました。また、今回は10名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、議員発議による条例の改正に関するもの2議案を可決しました。

(除雪の様子)

## 議会トピックス

### あわら市議会・加賀市議会合同要望活動

11月15日にあわら市議会、加賀市議会が合同で「国道8号バイパスの整備促進」について、要望活動を実施しました。

両市議会が、福井河川国道事務所及び金沢河川国道事務所を訪問し、整備促進を要望しました。また、近畿地方整備局及び北陸地方整備局に対しては、コロナウイルス感染拡大に鑑み、書面にて要望を行いました。

福井河川国道事務所



金沢河川国道事務所

## 予算決算常任委員会(決算審査)

予算決算常任委員会は、令和2年度の決算について、「予算が適切に執行されているか」、「その財政執行が本来の行政目的に適合しているか」、「住民負担とその用途が適正かつ効率的に行われているか」などに重点を置いて審査し、9月議会で認定しています。

そして、次年度以降の事業に反映できるよう、様々な項目において提案や改善を求めています。その主な項目を掲載します。

### ■総務課

#### 防犯カメラ設置事業補助金

各区の申請に対しての設置補助だけではなく、市として危険な場所を管理するために、防犯カメラの設置を検討すべきである。

### ■インターネット放送

#### 局「ねっとdeあわら」

視聴回数や登録者数が少なく、決算額に対して結果が伴っていない。登録者を増やすための手法等を検討すべきである。

### ■市民協働課

#### 市民活動

#### サポート助成金

申請する団体を増やすために掘り起こしに力を入れ、広報紙やホームページだけではなく、いろいろな機会を通じて積極的な呼びかけをするべきである。

### ■市民課

#### マイナンバーカード交付件数

#### 波松海岸線の「ミニ」

目標の交付率を達成するよう引き続き出張申請などを行い、積極的な推進をすべきである。

### ■生活環境課

#### デマンド交通

待ち時間を短くするなど、市民が使いやすいようにするために、デジタルを活用した予約システムの取り組みも考えるべきである。

### ■福祉課

#### 子どもの学習支援事業

#### 子育て支援課

#### 認定子ども園

貧困の連鎖の防止のため、生活困窮世帯の子どもたちへの学習支援事業は、分野をまたいで取り組むべき重要な事業であり、教育委員会を含めて連携を検討すべきである。

入園状況を見て、こども園の定員を減らす調整をするのではなく、園児たちを増やすため、あわら市に住んで子育てしてもらおうための施策を講じていくべきである。

### ■政策広報課

#### 吉崎経済会議

会議でつながった著名な方の輪を、更なる吉崎地区、あわら市の発展に繋げていくべきである。



#### ふるさとあわらサポート基金事業

ふるさと納税制度の受け皿としての基金を増やしていく努力をすべきである。





■農林水産課  
北潟湖水産資源

北潟湖の水産資源の回復が結果としてあらわれない。外来種駆除も大切ではあるが、再生のための放流事業も継続し、もう少し手厚い補助もすべきである。

■観光振興課  
観光協会の魅力発信事業

コロナ禍においても観光協会の魅力発信事業費が昨年と変わっていない。事業費に対する理解が得られる成果を示すべきである。

越前加賀県境の館

利用者がかなり減っている。県境の館には200万円近くの人件費を払っている。運営の仕方について検討すべきである。



越前加賀県境の館

菅原温泉芸妓協同組合補助金

芸妓の数が減っているため適正金額かどうか、今後検討していくべきである。

門型側溝の整備  
生活道路の改修

各区から毎年要望が上がっている。予算をつけて少しでも早く要望に対応できるようにすべきである。



門型側溝整備

■建設課  
道路維持管理

市道等のセンターラインの引き直しや、除草・街路樹剪定を計画的に進めていくべきである。



市道修繕予定箇所

老朽木造市営住宅の撤去について

強制退去はできず入居者の意向もあるが、根気よく継続して退去の働きかけをすべきである。

■教育総務課  
ふるさと教育

ふるさと愛は、遠いものではなく、身近なところから始まっていく。問



風羽里から白山を望む

口を広げて教育に取り入れていくべきである。

■文化学習課  
金津創作の森事業

金津創作の森事業に対して市からの補助金・指定管理料として毎年9千100万円程度がかかっている。今回、空調の整備改修をしているが、今後の方向性をどのようにしていくのか、検討すべきである。

審査全般

令和6年春の北陸新幹線芦原温泉駅開業に向けた駅周辺整備関連事業に加え、新型コロナウイルス感染症が中長期的に経済・財政に与える影響は未だ不透明である。厳しい財政状況の中にあっても、市民の安心・安全を確保し、市民の生命・財産を守ることが本市の責務である。必要対策には躊躇なく取り組み、感染拡大防止と社会経済活動の維持及び回復を図っていく。

■スポーツ課  
市民体育祭

今までも議会会で、市民体育祭の形を変える必要があるという意見が出てきている。今後検討が必要である。



今後はより積極的かつ戦略的に、また市民のニーズを的確に把握し、優先順位付けによる事業の取捨選択、更には創意と工夫により一層の効率化と徹底した節減・合理化に、理事者・職員が丸となった取り組みを切に望む。

予算決算常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

令和3年度  
一般会計補正予算

行つ予定です。

■総務課

定年延長制度支援  
業務委託料  
100万円増額

地方公務員の定年引上げに係る新制度への対応に要する経費を補正計上するものです。

委員 委託先はどのような企業か。

理事者 市の例規内容に精通している事業者です。

■監理課

庁舎管理経費  
1千300万円増額

複合福祉施設における自家発電設備の取替に要する経費を補正計上するものです。

委員 工事請負費の入札方式は何か。

理事者 指名競争入札を

■市民協働課  
ふるさとあわら  
サポート基金事業  
2千930万円増額

委員 業者の負担経費はどのくらいかかるのか。

理事者 ふるさと納税については、送料は市が負担しているの、基本的に返礼品提供事業者において、経費の負担はありません。

■市民課

戸籍住民基本台帳  
経費  
400万円増額

委員 マイナンバーカードの申請が伸び悩みになっているのではないかと

理事者 現在申請率は出張申請もこなして50.18%

まで伸びているが、本年度の目標60%を達成するため、市独自で図書カ-

■生活環境課

余熱館管理費負担金  
128万円増額

委員 送水管の大規模工事を近年行っていたのではないかと

■福祉課

障害児支援事業  
3千403万円増額

委員 割合としてはかなり増額となっているが、理由はなにか。

理事者 放課後デイサービスの充分な受け入れ態勢が整ったということもあり、障害児の特性に合わせ専門的に見てもらえるので、安心して預けられるということが大きく

■子育て支援課

子どもの医療費助成  
事業  
700万円増額

委員 インフルエンザ等を見越した予算なのか。

■健康長寿課

新型コロナウイルス  
ワクチン接種事業  
550万円増額

委員 医師や看護師の報酬の予算はどうなっているか。

理事者 当初予算で0歳児から全ての市民を対象にした経費を見込んでることから、その予算残額の見込み分を充て、接

■農林水産課

土地改良等整備事業  
委託料  
372万9千円減額

委員 樋山地区の事業が遅れているのはなぜか。

理事者 新幹線の建設発生土で盛土を行ってきたが、新幹線工事の遅れにより盛土材の搬入等が遅れました。今年3月に農地として復元され、来年度には引き続き換地業務を実施し、令和5年に仕上げる予定です。

■教育総務課

学校創立周年記念  
事業補助金  
75万円増額

委員 なぜ当初予算で計上しなかったのか。また、経緯と補助金額の妥当性はどうか。

理事者 今年度になって校長やPTA、地区の役員から要望がありました。また、地元から、予算決算見込額の資料と事業内容資料が提出され、不足金額の支援をしてほしいとの要望があり、それをもとに補助金額を決め、制度化しました。

■文化学習課

財団法人金津創作の  
森財団運営補助金人  
件費分  
519万3千円増額

委員 理事長の報酬はなぜ10か月分なのか。

理事者 理事長については、選任されたのが6月のため10か月分とし、専務理事については、退職職員を配置したため、市職員の再任用職員のフルタイムに換算した額を計上しています。



# 市政について問う!

12月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。  
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



- 木下 勇二 議員
- 新型コロナウイルス感染症対策と経済対策について
  - 今年度の除雪対策について
  - 福井県道153号水口・牛ノ谷線の整備状況について



- 堀田 あけみ 議員
- 地域共生社会をめざして断らない相談支援等、住民に寄り添い伴走する取り組みについて
  - あわら市の文化財について



- 北浦 博憲 議員
- 有害鳥獣に負けない地域づくり
  - 地域コミュニティの活性化と拠点づくり



- 青柳 篤始 議員
- 小学校・中学校の学習環境と学習指導要領の実施について
  - GIGAスクールの運用状況について



- 平野 時夫 議員
- 少子化対策について
  - 子宮頸がんワクチン接種について
  - グリーンライフ・ポイント制度の創設について



- 笹原 幸信 議員
- 農業の転作補助金について
  - 門型側溝の整備促進について



- 山川 知一郎 議員
- 稲作農家支援を
  - 原油価格高騰対策を



- 室谷 陽一郎 議員
- 公共施設再配置計画の実施・進捗状況について
  - 上水道の老朽施設の更新・下水道施設建設に伴う借入金返済について
  - 今後の地方債残高と公債費の推移について



- 島田 俊哉 議員
- 市職員の辞職や心の健康の不調による休職の状況について
  - あわら温泉街の街並み景観整備について



- 三上 寛了 議員
- 行政サービスのユーザビリティ向上とデジタル化について

インターネット中継で一般質問をご覧になれます。



## 総務厚生常任委員会

**あわら市個人情報保護条例及びあわら市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報等の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定**

引用する国の法令の改正に伴う条項のずれに対応する改正です。

**あわら市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定**

利用者証の交付を廃止するとともに、使用料を一部屋につき1時間当たり210円とする等の改正です。

**あわら市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定**

健康保険法施行令等の一部を改正する政令の公布に対応する改正です。

### 議案外の件

#### 市税等徴収実績

委員 入湯税の未納額は現在納付されているか。理事者 11月には完納されています。

#### 第2次あわら市環境基本計画(概要)について

委員 電気自動車を増やすために、市役所に急速充電施設を設置する考えはないか。理事者 電気契約も高くなることから、太陽光発電との併用など総合的に考えていきます。

**し尿等収集運搬新体制計画に伴う減車補償について**

委員 この補償は法に準じて行うことになるのか。また、あわら市に該当する事業者はいるのか。理事者 特別措置法に基づき支援するものです。

#### 子育て世帯への臨時特別給付金について

委員 あわら市を含めクーポン分を現金化すると表明しているところは、国の条件を理解した上で発言か。理事者 そうではなく国の条件を撤回して欲しいという意思と理解しています。

## 産業建設教育常任委員会

**芦原温泉駅交通広場条例の制定あわら湯のまち駅交通広場条例の制定**

設置、位置、使用料等の基本的な事項について規定するものです。委員 駐車料金の徴収方法についてはどうか。理事者 路線バス、タクシーについては年度末に一括で請求します。また、芦原温泉駅交通広場の一般車の駐車場については料金徴収し、あわら湯のまち駅交通広場の一般車については無料にします。

**公の施設の指定管理者の指定(あわら温泉湯のまち広場)**

一般社団法人あわら市観光協会を指定するものです。委員 指定管理者の負担

する修繕費の上限は決めているのか。理事者 1件当たり10万円としました。委員 今後は一般公募ということも検討してはどうか。理事者 今後の指定管理者の選定にあたっては参考とします。



**公の施設の指定管理者の指定(金津創作の森)**

公益財団法人金津創作の森財団を指定するものです。

委員 企画展の企画は誰が行っているのか。理事者 学芸員が携わっています。委員 入居作家が退去したところはどのように利用するのか。理事者 近年動きはありませんが、すでに退去された一軒には、ガラス作家が入居し、一軒は財団が宿泊棟として利用しています。





# ・新型コロナウイルス感染症 対策と経済対策について 今年度の 除雪対策について

**木下** 令和4年度も引き続き感染症対策と地域経済対策の予算計上が重要と考えるがどうか。

**市長** ワクチン接種を迅速かつ安全に進めており、追加接種についても引き続き迅速かつ柔軟な対応に努めます。

また、必要な経済対策を適時適切に実施します。

**木下** 2期目を目指す上で、新型コロナウイルス感染症対策及び経済対策に対する意気込みはどうか。

**市長** 国県の動向等や情報収集し、スピード感を持って事業を進め、第

6波やオミクロン株の情報にしっかりとアンテナを立てながら、迅速に対応していく決意です。



## 今年度の除雪対策について

**木下** 平成30年及び令和3年の大雪の経験を踏まえ、今年度の除雪対策で新しく改善された点はあるか。

**土木部理事** 県指定重点除雪路線を設けたこと。また、除雪車に位置情報発信装置を取り付け、除雪車の位置情報を県と共有したことです。



木下 勇二 議員

**木下** 業者への除雪車購入費用の補助金の増額をすべきと考えるがどうか。

**土木部理事** 補助制度の見直しを検討します。

**木下** 業者への道路除排雪機械運転員養成事業補助金を創設してはどうか。

**土木部理事** 補助制度の創設について検討します。

**木下** 冬期間の早期の除雪は、市民生活の安全・安心のため欠かせないことなので、今後とも早期の除雪をお願いしたい。

※その他、福井県道153号水口・牛ノ谷線の整備状況について質問しました。

# ・地域共生社会を目指す 取り組みについて 文化財について

**堀田** 地域共生社会を目指す取り組みについて

**堀田** 社会福祉法の改正により重層的支援体制整備事業が創設されたが、実施する年度計画はあるのか。

**副市長** 複雑化、複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、令和4年度に移行準備を進め、令和5年度には事業に取り組めるよう検討を進めていきます。

**堀田** 義務教育終了後のひきこもりの把握は困難であり、訪問支援型などによる自立支援、相談支援の機能強化が必要だと思うが、どう考えるか。

**健康福祉部長** アウトリ



堀田あけみ 議員

イチ等により支援の必要のある人を早期に見出すということは非常に大切なことであると考えています。

社会参加に向けた支援が必要な人に対し、フリースペースを設けるなど、民間団体と協力連携して、支援の強化ができないか検討を行っていきます。

## 文化財について

**堀田** 文化財の看板の整備は行っているか。

**市長** 文字のみの説明文から絵図や写真を用いた分かりやすい内容に見直すなどの更新を進めています。

**堀田** 文化財保存活用地域計画は進んでいるか。

**教育部長** この計画は、地域の文化財をまちづくりや観光などのほかの分野と連携した上で、総合的に保存活用していくためのものです。令和4年度より本格的な準備段階に入り、令和7年度の国の認定を予定しています。

**堀田** あわらの文化資源を子供の頃から知ってもらう取り組みは行っているか。

**市長** 4月から運用が開始予定のWiFi 6を活用し、授業の一環として子供たちに「あわら市の今」を映像で記録してもらおう取り組みを始めたかと考えています。

# ・有害鳥獣に負けない 地域づくり 地域コミュニティの 活性化と拠点づくり

**有害鳥獣に負けない地域づくり**

**北浦** 耐用年数を過ぎた侵入防止柵等の更新に際し、設置費用の助成を行う考えはないか。

**経済産業部長** 国の交付金及び県の補助事業を活用し対応していきます。

**北浦** 農地周辺以外への電気柵等の設置に対し、設置費用の助成を行う考えはないか。

**経済産業部長** 生活被害に対応した補助制度の創設を国・県へ引き続き強く要望していきます。

**北浦** 住宅地周辺へのイノシシの侵入を防ぐ電気柵の設置に対し、市独自の助成事業を実施する考えはないか。

## 地域づくり

**市長** まち・むらときめき事業補助金の活用が出来ないか検討しますが、管理は地域で行うことが必要となります。

## 地域コミュニティの活性化と拠点づくり

**北浦** 地域主体のまちづくり組織の創設を検討してはどうか。

地域づくりの拠点として公民館の新しい姿、役割を検討してはどうか。

**市長** 人口減少や高齢化の影響等により単独の集落では解決できない課題も増えてきています。今後、複数の集落で対応するなど地域が連携して、また、地区が連携して課題に取り組む地域活性化の組織について検討していく必要



北浦 博憲 議員

があると考えています。

これまで、旧小学校や公民館の区域を単位としてあらゆる団体が結集し、地域の課題を自ら解決し、地域運営を行う小規模多機能自治を推進している富山県南砺市、坂井市のコミュニティセンターへの視察などを行っている、地域づくり組織についての調査、研究を行っています。

地域づくり組織の拠点としては、公民館や現在休校となっている小学校等をコミュニティセンター化するという方法が考えられます。将来を見据え地域づくり組織やその活動の拠点整備は必要であり、今後そうした検討を加速させていきたいと考えています。

# ・部活動の 地域移行について

## GIGAスクールの 運用と今後

**学習指導要領の改訂について**

**青柳** 各学校が教育課程を編成する基準として、学習指導要領があり、およそ10年毎に改訂されている。小学校では令和2年、中学校では令和3年から実施されているが、主な変更点は何

か。

**教育部長** 外国語教育、防災・安全教育の充実、情報活用能力の育成、部活動の持続可能な運営体制の構築等が盛り込まれました。

**青柳** 市の部活動改革の方向性とスケジュールはどうなっているか。

**教育部長** 昨年7月から学習支援アプリを導入し、今後はドリル教材アプリを導入する予定で、タブレット端末の活用幅の拡大を図ります。また、今後は家庭に持ち帰る学習も行う予定です。

**青柳** タブレット端末は、できる子は前に進ん



青柳 篤始 議員

られる体制を構築していきたいと考えています。早ければ今年度中に検討委員会を立ち上げる予定です。

## GIGAスクールの運用と今後について

**青柳** あわら市内の小中学校では、1人1台のタブレット端末が整備されている。現在の運用状況はどうなっているか。

**教育部長** 昨年7月から学習支援アプリを導入し、今後はドリル教材アプリを導入する予定で、タブレット端末の活用幅の拡大を図ります。

また、今後は家庭に持ち帰る学習も行う予定です。

たり、逆に分からないところは低学年に戻ったりするところでは非常に優れている、また、ゲーム感覚でできるということは、学習が効率化されるなど多くの利点がある。

その反面、タブレット端末を自宅に持ち帰ることによって、ゲームやSNS等による悪影響などトラブルが懸念される。教育委員会も対策を講じることが、保護者の理解と協力が勝る対策はない。みなさんへの協力を呼び掛けてほしい。

未来をつくる子供達のために、素晴らしい明日を！



# 少子化対策

## 子宮頸がんワクチン接種 グリーンライフ・ポイント 制度の創設

### 少子化対策

**平野** 人口減少と少子化及びジェンダーギャップに対する見解は。進行状況に強い危機感を抱いています。

**市長** 少子化の急速な進行状況に強い危機感を抱いています。

**子宮頸がんワクチン接種**

**平野** 子宮頸がんワクチン接種率と正しい情報への周知は。

**健康福祉部長** 接種率は、平成25年度は4.2%、平成26年度から令和元年度の6年間で0.3%、令和2年度は4.8%と上昇、今年度も増加傾向です。

このため、出産や育児に対する各種支援の充実や拡大を図り、また、若者、子育て世帯に対する移住支援制度等を設け、対策に努めています。

ジェンダーギャップについては、少子化との関連性を認識した上で、あわら男女共同参画プランに基づき取組を行い、解消に繋がる啓発や活動を着実に進めます。

**市民生活部長** 今年度末の第2次あわら市環境基本計画の策定に併せてゼロカーボンシティ宣言を表明します。

令和2年度からは対象者に国が作成したパンフレットを個別に送付するとともに、ホームページにも掲載しています。ワクチン接種希望者には予診票と接種後の注意点を明記したパンフレットを送り、安心して接種が受けられるよう情報を提供しています。

令和2年度からは対象者に国が作成したパンフレットを個別に送付するとともに、ホームページにも掲載しています。ワクチン接種希望者には予診票と接種後の注意点を明記したパンフレットを送り、安心して接種が受けられるよう情報を提供しています。



平野 時夫 議員

**グリーンライフ・ポイント制度の創設**

**平野** あわら市のゼロカーボンシティ宣言の表明とグリーンライフ・ポイント制度の創設を。

**市民生活部長** 今年度末の第2次あわら市環境基本計画の策定に併せてゼロカーボンシティ宣言を表明します。

環境配慮行動に対しポイントがつく、グリーンライフ・ポイント制度での市独自のポイント導入は、各業界との調整が必要となり導入は困難です。しかし、市民や市内事業所等には制度活用について積極的な周知に努め、脱炭素社会の実現に向けた環境配慮行動を促します。

環境配慮行動に対しポイントがつく、グリーンライフ・ポイント制度での市独自のポイント導入は、各業界との調整が必要となり導入は困難です。しかし、市民や市内事業所等には制度活用について積極的な周知に努め、脱炭素社会の実現に向けた環境配慮行動を促します。

# 農業の転作 補助金について 門型側溝の 整備促進について

**農業の転作補助金について**

**笹原** 米の消費は毎年8万トンの減少が続いており、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響のためにさらに消費が落ち込み、米価も大幅に下がっている。

この苦しい中、坂井市と同様の団地化補助金を創設する考えはあるか。



**門型側溝の整備促進について**

**市長** 現在、あわら市では、水田フル活用の推進のため、水田農業を対象とした坂井市と同額の周年作促進事業を実施しています。

一方、坂井市では、これとは別に集団転作を推進する坂井市独自の補助金がありますが、あわら市では実施していません。

**笹原** 現時点で門型整備が完了するには、あと何年かかるのか。

**副市長** これまでは下水道の接続を条件にしてきましたが、これからは少し見直さなくてはならないと考えています。



笹原 幸信 議員

**市長** 令和4年度には、若原温泉駅の周辺整備の見通しが立つという中で、前向きに増額したいと考えています。

当初予算ベースで整備を行った場合、整備に要する年数は60年から70年になると考えています。現在、市では、若原温泉駅周辺整備を集中的に進めており、限られた予算の中で門型側溝の整備を行っています。

**笹原** 門型側溝の予算の増額を求める。

**市長** 令和4年度には、若原温泉駅の周辺整備の見通しが立つという中で、前向きに増額したいと考えています。

当初予算ベースで整備を行った場合、整備に要する年数は60年から70年になると考えています。現在、市では、若原温泉駅周辺整備を集中的に進めており、限られた予算の中で門型側溝の整備を行っています。

# 稲作農家支援を

## 山田 生産者米価は、コロナ禍による需要減で米1俵1万1千円と大幅に下落。米1俵の生産費は1万5千円前後と言われているが、米は作れば作るほど赤字で、米作りを続けるのは不可能というところになる。

問題は、国が米の需給調整を放棄し、米が余っているからとの理由でいつその減反を押し付け、一方で、外国から77万トンものミニマムアクセス米を輸入し続けていることにある。

国は過剰在庫米を市場から隔離するとともに、農家に対して再生産可能な価格や所得補償を行うべきである。

こうした中で、全国の幾つかの自治体では農

家を支援する動きが出ている。あわら市も支援すべきと考えるがどうか。

**経済産業部長** 農家が加入する収入保険の保険料負担を減らすため、保険料の一部助成を行っています。それが、国や県の動きを見ながら対応したいと考えています。

**山田** 国はCO<sub>2</sub>を減らし、安心・安全な食料を生産するために、「みどりの食料システム戦略」を策定し、

①2050年までに農林水産業のCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにする

②有機農業面積を農地の25%、100万ヘクタールに拡大する

③科学農薬の使用量を半減する



山川知一郎 議員

④化学肥料を3割削減する

としているが、あわら市ではこの戦略をどのように進めるか。

**経済産業部長** 環境負荷軽減のため、循環型肥料プラントの研究や有機農業の拡大、減農薬に向けた技術開発の調査、デジタル技術を活用した農業機械の導入などを推進したいと考えています。

※その他、灯油などが原油価格高騰により値上がりしているため、国の特別交付税を活用しての市民への支援を求めました。

# 上下水道事業及び 一般会計の 今後の財政について

**室谷** 上下水道施設の更新にどれぐらいの費用がかかるか、見積りしているか。

**土木部長** 計画では、平成30年度から13年間で配水場等の施設の更新に約11億円、令和5年度から10年間で管路の更新に約12億円で、合計約23億円が必要と見積もっています。

**室谷** 下水道整備事業に係る借入れの毎年の返済額と今後の返済の増減はどうか。

**土木部長** 実質的な返済額は令和3年度で6億1千300万円、その後令和8年度まで増加となり、以降は減少し令和12年度では5億4千300万円となります。

この返済には、一般会計

計から補填をしており、令和8年度では2億6千万円程度と見込んでいます。

令和12年度以降は更新時期を迎え始めるため、更新計画を作成、検討中です。

**室谷** 上下水道は直接市民の暮らしを支える重要な事業です。安全で安心であるために、施設、管路等の管理と計画的更新をしっかりとお願いしたい。

**室谷** 公共施設・上下水道施設の更新や下水道事業の返済に加えて、北陸新幹線開業に向けての駅周辺整備事業に多額の費用が投入されます。

今後の本市の財政見通しはどうか。

**市長** 令和2年度末の一般会計の地方債残高は、約176億2千900万円、駅周辺整備事業の完了となる令和4年度末は過去最高の184億円程度になります。したがって、返済額は令和2年度末が約14億9千万円で、令和8年度では約18億2千万円と増加します。

令和9年度以降は減少になると見込んでいます。

**室谷** 令和9年度以降は減少の見込みとはいえず、歳出においては慎重に行い、負の財産を残さない持続可能な行財政運営を切に要望します。



室谷陽一郎 議員



### 市職員の辞職や心の健康の不調による

## あわら温泉街の街並み景観整備について

市職員の辞職や心の健康の不調による休職の状況について

トータル的に工夫し、真摯に対応していきます。  
**あわら温泉街の街並み景観整備について**



島田 俊哉 議員

**島田** 市職員は、市民が投資する市民の共有財産であるが、自己都合による辞職やメンタル不調で休む職員が増加している。市長は任期中、職員と共に市政の発展に努める訳だが、職員が心身を壊すことがないよう、万全の措置を講ずることが大前提である。補助機関である職員について、市長の認識はどうか。

**島田** 湯のまち駅前正面の廃業旅館「角惣」は、老朽化が著しく、外壁等の飛散被害が発生し、人的被害や火災の発生も危惧される。新幹線県内開業までに、建物の解体と、解体跡地の整備をすべきではないか。

**市長** 職員には健康と家族が大事であると言っています。適材適所の人員配置や職員数確保をしっかりと行い、DXなどもある中、業務改善など

**創造戦略部長** 特定空家等に認定する方向で進めており、令和6年春の新幹線県内開業を念頭に、まずは建物の解体、そして解体後の跡地利用に取り組んでいきたいと考えています。



老朽化した旅館

### 行政サービスのユーザーフレンドリー向上とデジタル化について



三上 寛了 議員

**三上** ホームページ（HP）における体育館予約方法がわかりにくいというようなデジタル分野でのユーザーフレンドリー（利便性）の問題について、市の認識と改善の予定は。

**副市長** 現行のHPは運用開始から7年が経過しており、この間に他自治体におけるHPの機能は大幅に向上しています。



現行HP

HPのリニューアルについては、市の情報プラットフォームとしての役割に加え、行政手続のオンライン化などの機能充実、ユーザーフレンドリー（利用しやすい）への対応、オープンデータの積極的な公開などを含め、DXの推進と併せて、総合的に検討していきたい。

**三上** デジタルリテラシーの向上に向けて、現在どのような検討をしているのか。

**市長** 本市においては、デジタルリテラシー向上のため、職員全体が自発的に学ぶ環境整備のほか、職員の意識改革や階層別、習熟度別の研修の充実などを図りたい。

**副市長** 今後の導入について検討したいと考えています。

自助共助ということシステムにも入れながら、よりよいまちにしていくことが非常に重要と考えています。

### 議員発議

あわら市議会会議規則第14条において、議員は各種要件により議案を提出することができます。

### あわら市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について

**趣旨** 一般質問を「一問一答」の方式で「行うものとする」を「行うことができる」とし、質問方式の特徴、利点を生かし、更なる論点及び争点を明確にするため、改正を行うもの。

**結果** 可決

### あわら市議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**趣旨** 令和3年12月期の期末手当を1,675月から1,575月に0.1か月分引き下げること併せ、令和4年から、6月期と12月期を平準化し、期末手当をそれぞれ1,625月に改正を行うもの。

**結果** 可決

知ってる? ちょっと役立つ 豆知識

## 政治家のルール

### ～寄附の禁止～

お金のかからないきれいな政治・選挙の実現のため、選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。

有権者が求めてもいけません。冠婚葬祭における贈答なども寄附になるので、注意してください。

**■寄附の例■**

- ・お中元、お歳暮
- ・葬式の花輪、供花、送り香典
- ・祝い金や品物
- ・地域、神社、仏閣行事への寄附や飲食物の差し入れ
- ・町内会の催物への寸志や飲食物の差し入れ

### 討論

#### 議案第64号 あわら市一般職の職員の給与に関する条例及びあわら市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

12月のボーナスで減額するという自治体と、国に準じて12月のボーナス引下げを見送り、来年6月のボーナスで調整するという自治体に分かれているが、国が法律並びに通達によって、地方自治体も協力と言ってきているため、来年の6月で12月分の引下げを調整すべき。

**賛成** 来年の6月に残っている人だけ負担が重くなることはおかしい。

#### 議案第57号 令和3年度 あわら市一般会計補正予算(第8号)

マイナンバーカード取得促進費が計上されているが、マイナンバー制度は個人情報保護上極めて問題がある。個人情報保護の観点から、市が400万円もの取得促進費を計上するのは、何のためか。税金の無駄遣いである。

**賛成** マイナンバー制度は国の政策であり、マイナンバーカードによって色々なことができるようになる。今後、利便性が上がってくるものと思っている。





令和3年12月 第110回 あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案	議決結果	議員表決														
		三上寛了	青柳篤始	島田俊哉	木下勇一	北浦博憲	堀田あけみ	室谷陽一郎	平野時夫	毛利純雄	吉田太一	山田重喜	八木秀雄	笹原幸信	山川知一郎	北島登
令和3年度あわら市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	○
令和3年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
令和3年度あわら市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
令和3年度あわら市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
令和3年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
あわら市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
あわら市一般職の職員の給与に関する条例及びあわら市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○
あわら市個人情報保護条例及びあわら市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	○
あわら市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
あわら市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
セントピアあわら条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
芦原温泉駅交通広場条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
あわら湯のまち駅交通広場条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定について(あわら温泉湯のまち広場)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定について(金津創作の森)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
令和3年度あわら市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
議員提出																
あわら市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○
あわら市議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○

議会を傍聴してみませんか?

市議会の傍聴

議会基本条例第5条第2項に「すべての会議を原則公開するものとする」と規定しており、会議の様子は、どなたでも見たり、聞いたりすることができます。傍聴するということは、一番身近な政治への関心を持つということになります。

本会議の傍聴を希望される方は、会議当日、市役所3階、議会事務局の受付で住所、氏名等を記入して傍聴券の交付を受けてください。

令和4年3月  
第111回定例会  
3月4日~3月24日  
開催予定!

3月定例会の会期日程

日	曜日	内容
4日	金	本会議
		予算決算常任委員会
8日	火	本会議(一般質問)
9日	水	本会議(一般質問)
10日	木	総務厚生常任委員会
11日	金	総務厚生常任委員会
14日	月	産業建設教育常任委員会
15日	火	産業建設教育常任委員会
23日	水	予算決算常任委員会
		議会運営委員会
24日	木	全員協議会
		本会議